

来る6日(土) お披露目公演!

## Kitara に響くポーランドオルガン音楽

<第15代>札幌コンサートホール専属オルガニスト

マリア・マグダレナ・カチョルさん

9月に就任したポーランド出身の専属オルガニスト、マリア・マグダレナ・カチョルさん。ポーランド、フランス、ドイツで研鑽を積み、欧州各地で演奏活動を行ってきた実力派の演奏に注目。



10月6日(土)14:00開演 ◆札幌コンサートホール Kitara 大ホール ◆全席指定一般1,000円/学生500円

### 専属オルガニストはポーランド人

札幌コンサートホール Kitara の大ホールには、素晴らしいパイプオルガンがあります。会員の皆様の中にも、その美しい響きをお聴きになった方もいらっしゃるのではと思います。このオルガン、フランスのストラスブールのケルン社が制作したものです。そのため、毎年、Kitaraに1年の契約でやって来る専属オルガニストは、フランス人が圧倒的に多かったのです。しかしこの度、第15代専属オルガニストに初めて、ポーランド人が就任しました。事業部の方から、「一度会いに来てください」という、お誘いのことばをいただいたので、当協会の会員でピアニストの安田文子さんと一緒に行ってきました。お名前はマリア・マグダレナ・カチョルさん。お若く、非常に美しい女性でした。オルガニストと聞いて、バッハのような気難しいオジサンを想像していたので、かなりびっくりしました。カチョルさんも、「北海道ポーランド文化協会」の事務局長が会いに来ると聞き、緊張していたらしいのですが(その日は、上田市長への表敬訪問もあったそうです)、私のような学生に毛が生えたような風貌の若造だったので、少し拍子抜けしたようでした。私も安田さんもポーランド語が出来ることを知り、とても喜んでくださり、興奮した面持ちで、熱くポーランドのオルガン音楽のことを語ってくださいました。

ここで簡単にマグダレナさんの経歴を紹介すると、1980年にポズナン近郊のコシチャン生まれ。7歳で音楽を始め、ミェチスワフ・カルウォーヴィチ高等音楽学校でピアノ、指揮法、室内楽、オルガンを学び、をイグナツィ・ヤン・パデレフスキ国立音楽アカデミーでピアノと音楽教育を学んだそうです。2005年からはフランスのガブリエル・フォーレ音楽院、リヨン国立高等音楽院などのオルガンクラスで研鑽を積み、アンドレ・マルシャル国際オルガンコンクール

審査員特別賞、11年、ヘルマン・スレーダー国際オルガンコンクール2位、ポーランド、リトアニア、イタリアなどの音楽祭にも定期的に出演されているようです。

### デビューリサイタルにご参集!

そして10月6日(土)14時から、Kitara大ホールで、お披露目のデビューリサイタルが行われます。バッハのトッカータのような、なじみ深い曲目も演奏されますが、ポ文協の会員にとって一番の聴きどころは、ポーランドの作曲家ミェチスワフ・スゼンスキの「悲歌作品36d」です。ポーランド版ウィキペディアにも数行の記述があるだけなので、知る人ぞ知る教会音楽の作曲家なのでしょう。「演奏会では、毎回ポーランドの作品を必ず1曲は

取り上げたい」とおっしゃっていました。先述のミェチスワフ・スゼンスキ以外にも、ユゼフとステファンのスゼンスキ兄弟(ミェチスワフとの血縁関係は不明)など、紹介したい作曲家の名前を挙げてくださいましたが、残念ながら私の知っている

人物はひとりもいませんでした。しかし、逆に言えば、これからカチョルさんを通して、ポーランド音楽の新しい世界に目が開かれるかと思うと、とても心が躍ります。Kitaraの事業部の方も、「日程さえ合えば、Kitara以外の活動も行えますよ」というお話だったので、ポ文協でも彼女を中心に、何か演奏会を行えないか、画策していくつもりです。

尚、10月6日のデビューリサイタルでは、ポーランド文化を紹介するパネル展も催されるとのことで、資料提供で当協会も少し協力いたしました。お時間のある方は、ぜひ足をお運びください。

佐光伸一(さみつ・しんいち=事務局長)



筆者・カチョルさん・安田さん



## マリア・マグダレナ・カチヨルさんの日誌

Maria Magdalena Kaczor's Diary

昨年9月にKitara第15代専属オルガニスト就任。その豊穡な響きは深く強く多くの聴衆の心をゆさぶります。5月9日東京芸術劇場「ランチタイム・パイプオルガンコンサート」、12日大森めぐみ教会「BACHプラス オルガンコンサート」、札幌では6月6日「オルガンサマーナイトコンサート」、14日「オルガンによる教会音楽の夕べ」、さらに東京で7月11日「サントリーホール オルガンプロムナードコンサート」が企画されています。

### オルガンサマーナイト コンサート

～ワンコインで楽しむコンサート

オルガンとヴァイオリンの音色に包まれる初夏の夜～

6月6日(木) 19:00 開演/18:30 開場  
札幌コンサートホール Kitara 全席指定 500円

- ・ブラームス: 11のコーラル前奏曲 作品122より
  - ・ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集《和声と創意の試み》  
作品8より(四季)ト短調「夏」作品8-2 RV315
  - ・アルビノーニ: アダージョト短調 他
- Kitara チケットセンター ☎ 011-520-1234

<http://www.kitara-sapporo.or.jp/event/?p=30224>

### カチヨルさんのプロフィール

1980年ポーランド生まれ。ミェチスワフ・カルウォーヴィチ高等音楽学校、イグナツィ・ヤン・パデレフスキ国立音楽アカデミーで学び、05年からフランスのガブリエル・フォーレ音楽院のフランソワーズ・ドルニエのオルガンクラスで研鑽を積み、08年にパリ地方音楽院でオルガンのディプロマ取得。

同年、リヨン国立高等音楽院のフランソワ・エスピナス及びリーズベット・シュルンベルジェのオルガンクラスに入学、12年6月卒業。

07年、アンドレ・マルシャル国際オルガンコンクールでファイナリストとなり審査員特別賞受賞。

11年にヘルマン・シュレーダー国際オルガンコンクールで1位なしの2位。ポーランド、フランス、リトアニア、イタリアの音楽祭に定期的に出演。

12年9月、第15代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

### オルガンによる教会音楽の夕べ

6月14日(金) 開演 18:30～ 札幌北一条教会(中央区北1西13) 入場料: 1000円

M.レーガー: イントロダクションとパッサカリア ニ短調

F.メンデルスゾーン: オルガン・ソナタ第6番 Op.65-6 他

お問い合わせ ☎ 011-221-4455 (北一条教会内)

<http://www.geocities.jp/kitaljo/02img/130614kaczor> ご参照ください。

カチヨルさんの「トッカータとフーガ ニ短調 BWV565」の演奏が動画でご覧いただけます。

- ◆ 「北海道ポーランド文化協会」公式ホームページより
- ◆ カチヨルさんのホームページ <http://www.mariamagdalenakaczor.eu/index.html>
- ◆ YouTube から [http://www.youtube.com/watch?v=0Xz\\_2hnz\\_-4&list=UUjXRtuUzBU88L1QYiG2z6XA&index=1](http://www.youtube.com/watch?v=0Xz_2hnz_-4&list=UUjXRtuUzBU88L1QYiG2z6XA&index=1)
- ◆ 大使館の文化活動、映画や演奏活動の様子について「ポーランド広報文化センター」から↓  
カチヨルさんのCDは、7月6日(土) 発売予定! <http://instytut-polski.org/>  
※任期を終える今夏に「カチヨルさん さよならコンサート」(仮題) 企画中! 12頁ご参照ください。